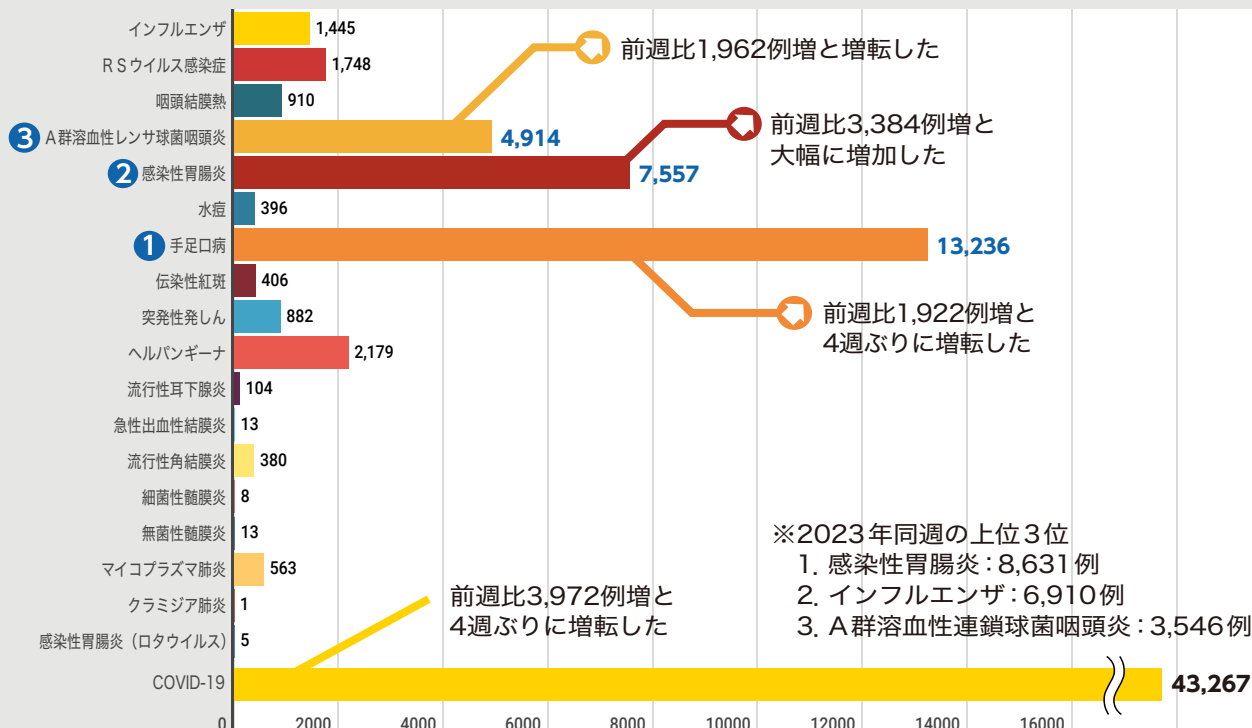




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

お盆明け、上位感染症は軒並み増加

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

①手足口病

報告数

1. 東京都: 1,164例
2. 神奈川県: 1,099例
3. 愛知県: 993例

定点当たりの報告数(4.24)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 山形県: 8.43 | 4. 北海道: 7.04 | 7. 長崎県: 6.05 | 10. 福井県: 5.72 |
| 2. 宮城県: 7.55 | 5. 岩手県: 6.68 | 8. 静岡県: 5.98 | 11. 富山県: 5.66 |
| 3. 滋賀県: 7.08 | 6. 青森県: 6.68 | 9. 山口県: 5.74 | 12. 愛知県: 5.46 |

※その他、石川県(5.03)が警報基準値(5.00)超え

②感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 638例
2. 大阪府: 511例
3. 埼玉県: 492例

定点当たりの報告数(2.42)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 大分県: 6.69 | 4. 熊本県: 4.00 | 7. 福岡県: 3.53 | 10. 石川県: 3.24 |
| 2. 福井県: 4.52 | 5. 宮崎県: 3.81 | 8. 群馬県: 3.42 | 11. 兵庫県: 3.22 |
| 3. 香川県: 4.21 | 6. 三重県: 3.68 | 9. 愛媛県: 3.27 | 12. 徳島県: 3.17 |

③A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 福岡県: 427例
2. 東京都: 288例
3. 神奈川県: 278例

定点当たりの報告数(1.58)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 鳥取県: 4.47 | 4. 宮崎県: 2.72 | 7. 大分県: 2.44 | 10. 山口県: 2.14 |
| 2. 福岡県: 3.56 | 5. 長崎県: 2.66 | 8. 山形県: 2.43 | 11. 新潟県: 2.13 |
| 3. 茨城県: 3.31 | 6. 愛媛県: 2.54 | 9. 沖縄県: 2.23 | 12. 三重県: 1.95 |

今週の感染症動向

手足口病は4週ぶりに増転した。第28週(4万1,885例)にピークを迎えて以降、減少傾向にあるが、13道県の定点当たり報告数はいまだ警報レベル(5.00)を超えている。感染性胃腸炎は3,000例以上大幅に増加した。定点当たりの報告数(2.42)は大分県(6.69)で突出しており、福井県(4.52)、香川県(4.21)、熊本県(4.00)と続く。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎も増転した。昨年は秋以降に流行したが、今年は第1週以降、例年に比べて報告数が増加傾向にあり、秋以降の動向が注目される。マイコプラズマ肺炎は例年に比べかなり多い状態が続いており、定点当たりの報告数(1.17)は佐賀県で4.00となった。COVID-19は4週ぶりに増転し、4万例を超えた。定点当たりの報告数は青森県(17.90)、岩手県(15.94)、秋田県(14.44)、宮城県(14.04)と東北地方で多い傾向にあった。お盆明けの週ということもあり、感染症は軒並み増転した。昨年は秋にかけてA群溶血性連鎖球菌咽頭炎が増加傾向にあったが、今年の動向はどうなるのか。引き続き動向を注視したい。